

# 海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

2025.

# 6

静岡県企画部地域外交課



台北国際都市フォーラムに県内自治体から静岡市と浜松市が参加

## 東南アジア

富裕層向けイベントで静岡茶を呈茶し、静岡をPR！（シンガポール）

ナンヤンポリテクニクを視察 県内の学校との連携を模索（シンガポール）

## 中国

浙江省の商業施設で「本県観光・航空路線・日本酒」のプロモーションを開催！

中国で「最も熱いSNS」小紅書（RED）で県内観光地を調べてみると？

## 韓国

韓国新大統領に李在明氏

日韓両国民専用入国レーン

## 台湾

台湾企業訪日団が来静 企業視察と交流会を実施

台湾で最も使われている言語は？

# 東南アジア駐在員報告

駐在員：村川 未帆

## 行政

### 富裕層向けイベントで静岡茶を呈茶し、静岡をPR！（シンガポール）

5月16日、特別な支援が必要な子どもたちへの支援活動を行うシンガポールの慈善団体が開催したチャリティディナーで、参加者の手土産に静岡茶を用意するとともに、在シンガポール日本大使館が設置した日本ブース内で静岡茶の呈茶と本県PRを行った。

当イベントには、飲食店・小売店等の経営者を含む超富裕層が300人以上参加しており、富裕層・経営者に対する静岡茶及び本県の魅力を発信する絶好の機会となった。

今回、水出し煎茶をメインに呈茶したが、現在シンガポールで人気の高い抹茶に比べ、水出し煎茶は水色も薄く、味も繊細なため、来場者の反応が気がかりだった。しかし、会場では「普段飲んでいるお茶と全く違い、とても美味しいので是非このお茶を購入したい」、「今度日本に行ったら、静岡で美味しいお茶を飲んでみたい」等、高い評価をいただいた。さらに、日本ブースで日本食を監修した高級料理店シェフからも、静岡茶のクオリティの高さを絶賛され、静岡茶とシェフの料理のペアリングや静岡茶を使ったイベントの提案をいただいた。

富裕層をターゲットにした静岡茶の販路拡大及びティーツーリズムには高い可能性があることから、今後、県内茶産地、旅行代理店、当地のレストラン等と連携しながら、積極的に富裕層向けに静岡茶の魅力を発信していきたい。



## 社会

### ナンヤンポリテクニクを視察。県内の学校との連携を模索（シンガポール）

先日、ナンヤン・ポリテクニク（NYP）を訪問し、教員と意見交換を行い、施設を見学した。

ポリテクニクはシンガポールの国立高等専門学校で、4年制中学卒業後の17～20歳前後の学生が、職業に直結した実践的教育課程で3年間学ぶ。NYPでは応用化学、工学、経営等の6つの学部にあわせて約13,000人の学生が在籍し、1～2年時に基礎を学び、3年時にインターンシップで実践力を身につける。

NYPは外国語の習得や異文化理解にも力を入れており、母語や公用語に次ぐ第三言語として日・韓・仏・独の授業を選択できる。クラブ活動も充実しており、50以上あるクラブの中に日本文化クラブもあった。

協定を締結している海外の学校との交換留学プログラムや、日本語専攻や日本文化クラブの学生達との1日交流プログラムも実施しており、以前は、県内の高校とも交流があったが、コロナ禍以降交流が途絶えているため、是非再開したいとのこと。

多民族国家のシンガポールで現地学生と英語で交流し、充実した教育施設で学ぶことは、本県の学生にとって視野を広げる良い機会となる。希望する学校があれば、是非NYPにつながりたい。

# 中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

## 経 済

### 浙江省の商業施設で「本県観光・航空路線・日本酒」のプロモーションを開催！

4月27日～5月11日、上海事務所は浙江省・杭州市のイオンモールで開催された日本観光・食品イベントに出展し、本県観光、静岡－杭州路線、日本酒のPRを行った。

本イベントは、現地の大型連休（労働節：5月1～5日）に開催されたこともあり、多くの来場者が本県ブースを訪れ、上海事務所SNS（小紅書）のフォロワーは680名増、本県日本酒（三和酒造、花の舞酒造）は約11万円相当を販売するなど、手応えを感じる出展となった。



現地では、「夏の家族旅行を企画中。静岡線を利用してちびまる子ちゃんの故郷である静岡を訪れてみたい。」との声や、「初めて日本酒を飲んだが思っていたよりも飲みやすい。浙江料理とも合いそう。」などの意見が寄せられた。中国では、労働節が終わり7月からの「夏の家族旅行商戦」がスタートしている。上海事務所では、家族連れを対象とした対面セールスを強化し、本県の更なる認知度向上と、観光・食品需要の掘り起こしを進めている。

## 社会・時事

### 中国で「最も熱いSNS」小紅書（RED）で県内観光地を調べてみると？

コロナ禍で落ち込んだ中国からの旅行客が回復基調にある中、大きなトレンドの変化は「個人旅行の増加」だ。

こうした個人旅行の情報収集のため、中国で最も注目されているSNSが小紅書（RED）である。日本でも「Yahoo!やGoogleで検索してブログや公式サイトの情報を得る」ことから、「Instagramで検索して画像や口コミの情報を得る」ことに旅前の情報収集のスタイルが変化しつつあるように、中国でも小紅書が検索プラットフォームとして存在感を高めている。たとえば「大室山」と検索すると、多くの利用者が「東伊豆一日游」など自身の経験をまとめた情報を投稿し、この「映える風景」を追体験しようと「人が人を呼ぶ動き」が生じている。

上海事務所でも、昨年3月から小紅書での情報発信を開始し、フォロワー数が1万人を超えるなど健闘している。お近くの観光地や、中国人観光客で賑わう地域が小紅書でどのように紹介されているかを調べてみると、中国人が期待する「映える風景」が視覚的にイメージでき、インバウンド誘客に向けた商品造成の参考になるだろう。

【参考：小紅書の自治体アカウント（当所調査・5月末時点）】

鳥取県4.1万人、日本政府観光局（JNTO）2.3万人、長野県1.5万人、静岡県1.1万人、京都市1.0万人、福岡県6.2千人、佐賀県6.1千人、沖縄県4.6千人、岐阜県3.2千人ほか



# 韓国駐在員報告

## 駐在員：石ヶ谷 彰英

### 政治

#### 韓国新大統領に李在明氏

6月3日に行われた韓国大統領選挙は即日開票の結果、「共に民主党」から立候補した李在明（イ・ジェミョン）元京畿道知事が当選した。新大統領は翌4日付で大統領に就任した。

尹錫悦（ユン・ソンニョル）前大統領の弾劾、罷免後の選挙であり、前回選挙に僅差で敗れた李氏が圧倒的に有利と見られていたが、尹前大統領与党の保守政党「国民の力」から立候補した金文洙（キム・ムンス）候補に得票率で8ポイントの差をつけての当選となった。

李氏のこれまでの日本への発言や行動から、2国間の関係悪化を懸念する声が多数出ているが、選挙期間中のインタビューでは「日本は重要なパートナー」と配慮を感じさせる発言をしている。また、就任式では「強固な韓米同盟を土台に日米との協力を固め、周辺国の関係も国益と実用の観点からアプローチする。」と述べ、「実用主義者」の一面を示している。

日米ともにお祝いのコメントは出しているが、今後行われる首脳会談ではどのようなやり取りがあるだろうか。個性が際立つという点で、トランプ大統領との類似性を指摘する声もある中、李氏の支持者と非支持者との対立は根深く、韓国社会の更なる分断も危惧される。

李氏の支持層は前政権の対日政策に否定的な傾向があるとされるが、日本に対して好感を持つ若年層が増えている中、新政権が今後どのような方向に舵を切るか、要注目である。

### 経済

#### 日韓両国民専用入国レーン

日韓基本条約は、1965年6月22日に署名され同年12月18日に発効した。今年は締結60周年にあたり、両国では様々な取組が予定されているが、その節目に合わせて開設されたのが、「日韓両国民専用入国レーン」である。

韓国ではソウル金浦空港と釜山金海空港に、日本では羽田空港と福岡空港に設置された。最近1年間に相手国への入国歴があることが条件となっている。

金浦空港と羽田空港については指定された便の搭乗者のみが利用可能で、オンラインでの事前登録が必要。6月1日から運用が開始され、同月30日までの1か月間限定の措置となる。

このニュースは日韓双方のメディアで取り上げられたが、韓国側のテレビニュースでは主に初日の羽田空港の様子がリポートされていた。

昨年1年間の日本への韓国人入国者数が約882万人に対して、韓国への日本人入国者数が約322万人。韓国側のメリットが大きいように感じられるが、日本側でも課題となっている入国審査における渋滞を改善する効果も見込まれ、双方にメリットがあると言えよう。

期間場所限定の今回の取組が、将来どのように展開していくのか、とりわけ静岡発の国際定期便が就航する仁川空港にも拡大するか、一利用者としても大いに気になるところである。

# 台湾駐在員報告

## 駐在員：市川 美奈子

### 行政

#### 台湾企業訪日団が来静 企業視察と交流会を実施

5月19日～23日、医療をテーマとした台湾企業訪日団が本県と山梨県を視察した。5月21日と22日の2日間で本県の医療関連企業4社を視察したほか、21日には静岡市内で、日台双方の関係者が集う100名規模の交流会が開催された。

今回の訪日団のメンバーは、台湾のトップ100企業等で構成される「三三企業交流会」と、同会所属企業の若手実業家から成る「三三会青年企業家委員会」、そして日台のビジネス交流強化を目的とする「台日商務交流協進会」の会員および事務局職員の約50名だった。同訪日団は毎年2回日本への視察を行っているが、本県への訪問は2019年が最後となっていたため、かねてより弊所から台日商務交流協進会に、ぜひ静岡にもお越しいただきたいと伝えていた。

本県の経済団体（一般社団法人静岡県経営者協会、一般社団法人静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、公益社団法人静岡県国際経済振興会）と三三企業交流会・台日商務交流協進会は2015年に経済交流に関する覚書に調印しており、今年は調印から10周年の節目に当たることなどを記念して、本県が訪問先に選ばれた。

2日間の視察と交流会は盛況に終わり、訪日団から大変好評であった。訪日団の受入に尽力くださった経済団体の皆様、視察先企業の皆様、県庁各部署ならびに交流会に参加していただいた県内企業・行政の皆様、静岡県議会日台友好議員連盟の皆様には、この場を借りて御礼を申し上げたい。成長を続ける台湾とのビジネス交流が今後も活性化していくよう、弊所もより一層尽力していく所存だ。

### 社会・時事

#### 台湾で最も使われている言語は？

台湾に駐在していると、県内の事業者の方からよくこのような相談をいただく。「今度台湾に営業に行く予定で、台湾語の通訳を探しています。ご紹介いただけませんか。」

実は台湾で最も使われている言語は「台湾語」ではなく「(台湾の)中国語(別名：台湾華語)」だ。台湾華語は、大陸の中国語(北京語)をベースとし、台湾で独自の発展を遂げた言語。台湾では「国語」とも言われている。ベースになっているのは大陸の中国語であるため、大陸の中国語とは共通点が非常に多い。両者は、イギリス英語とアメリカ英語のような関係性だ(春、夏、冬は同じ単語だが、「秋」だけ「autumn」「fall」のように異なるなど)。

一方で台湾語は、中国南部の福建省の方言である「閩南(びんなん)語」をベースに、日本語がミックスされている言語。台湾南部の年配者が日常的に使うことが多く、台北で生まれ育った若者だと、台湾語を話せないことも珍しくない。ちなみに弊所の台湾人スタッフも、台湾語は「頑張れば聞き取れることはできるが、話すことはできない」そうだ。

2020年に台湾で行われた国勢調査によると、「他者との交流に日常的にどの言語を使うか」という質問に、中国語(台湾華語)と答えた人が66%、台湾語と答えた人が31%とのことだ。

このように、台湾で最も使われている言葉は「台湾語」ではなく「中国語(台湾華語)」だ。台湾に興味を持ってくださっている皆様におかれては、ぜひ、この点を正しく認識していただけると幸いです。

## 静岡県 海外駐在員事務所

### ●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(SOH02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	<a href="http://www.shizuoka.sg/">http://www.shizuoka.sg/</a>		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

### ●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	<a href="http://www.shizuokash.com">http://www.shizuokash.com</a>		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

### ●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	<a href="http://shizuokaseoul.com/">http://shizuokaseoul.com/</a> <a href="https://blog.naver.com/goshizuoka">https://blog.naver.com/goshizuoka</a>		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

### ●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	<a href="http://www.shizuoka.org.tw/">http://www.shizuoka.org.tw/</a>		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

### <日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課

住所：静岡市葵区追手町 9-6

電話：054-221-2572 FAX：054-221-2542

E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp